

# 熊本市歯科医師会会誌

第 62 号



昭和63年度中根新執行部発足

## 表紙の写真 “新緑”

「足もと(歯科界)をしっかりと中に  
季節感をと思ひまして」

杉 野 陽二郎

## 目 次

|                           |          |
|---------------------------|----------|
| 昭和 63 年度 中根新執行部発足         | 2        |
| 母と子のよい歯のコンクール             | 分山 和男・12 |
| 勉強部屋                      | 奥村 敏之・14 |
| 本日休診「カリブ諸島 チャータークルージング紀行」 | 浜坂 浩・19  |
| 熊本市保健医療専門団体連合会について        | 田島 宗穂・24 |
| 支部長会議報告                   | 赤城 公德・26 |
| 昭和 63 年度新樹会発足             | 原賀 滋久・27 |
| 昭和 63 年度新樹会運動会            | 田ノ上 輝・28 |
| 支部会だより「北部第二支部 研修講演会開催」    | 岩本 義人・30 |
| 「日本審美歯科研究会」での講演を終えて       | 伊東 隆利・31 |
| ”水害御見舞申し上げます”             | 33       |
| 新入会員紹介                    | 34       |
| 委員会だより                    | 36       |
| 会務報告                      | 39       |
| 編集後記                      |          |

## 昭和63年度中根新執行部発足



熊本市歯科医師会

会長 中根 俊 吾

この度、皆様の御支援と川崎正士前会長の御推薦を頂きまして、栄誉ある熊本市歯科医師会会長に就任いたすことになりました。

誠に光栄でありますとともに、その責務の重大さを痛感しています。

今日まで、先人、諸先輩そして前執行部が築いてこられた基本路線を遵守し、微力ながら会の発展のために尽力いたす所存です。

ご存知のように、現今の歯科界は、社会情勢の変化に伴ない、多くの困難な問題に直面しています。

しかも、将来に向けて的確に処理しなければ需給両者ともに、歯科医療の低迷にあえぐ時代を招きかねない、重要なことばかりです。

加えて身近には、本年度より実施の生涯研修制度への取りくみ、会員の緊急時ヘルパー

をはじめとする厚生福祉面の充実、又、会の財源として大きなウエイトを占める収益事業についても、県歯協同組合の動向を勘案しながら、推進していかねばなりません。

この様な時に当り、正常に会を運営していくには、会員皆様の理解ある御協力と、責任のある執行部の努力とが一致しなければならぬ事は論をまちません。

そのためには、出来得る限り会務の状況、内容などを含めて、正しい情報の提供をしていきたいと考えています。

その上で、先生方の意向や疑問を機会ある毎に拝聴し、検討を加えながら、実行可能なものから会の運営に反映させていくつもりです。

是非とも多くの忌憚のない意見を寄せられんことを、望んでいます。

「明察にして断あり」、これは孔子の言葉です。国体を大きく誤りなく運営するためには、それを構成する人達の心を審に識らねばならない、そして互いに深い理解の上で断を下す。大意この様なことです。

今後は、この「明察而有断」をモットーとして、将来展望の不透明な局面の中で、少しでも頼りがいのある執行を心掛けてまいりたいつもりです。

最後になりましたが、川崎前会長をはじめとし役員の方の永い間の御苦勞に、深く感謝いたしますと共に、会員皆様が前執行部に寄せられたと同じく、熱意と気鋭に富む新役員への御理解とお力添えのほどを、改めてお願いいたしまして、私の就任のことばいたします。



副会長

鈴木勝志

1988年4月1日熊本市歯科医師会新中根会長のもと副会長に就任してもう2カ月が過ぎようとしています。歯科界も日進月歩、客観情勢も刻々と変化しています。内部的には6月からは保険点数の変更、当面の大問題でしょう、生涯研修も4月からスタートしています、協同組合も発足致しました。5月の大雨連休も心配でした、被害に遭われた先生方には心からお見舞い申し上げます。それにつきましても本会の相互互助につきましても気にかかりました。新規開業の問題、それに伴う新入会員に対する指導研修の事、会員の増加率は10年を振り返ると目を見張るものがあります。外部的には医師会との事、特に医専連への協力活動、学校検診、そして外部広報、市役所、県庁、との事などなど一つ一つ挙げれば限りがありません。しかし時間は無情に過ぎ去って行きます。焦りを禁じ得ませんが会長方針にしたがって3年間色々の問題を手掛けて行きたいと思います。私達の一年後二年後を、そして私達の子供、孫の時代を歯科医師としての誇りと満足感を得て安心して歯科界の発展に寄与できる時代にして行こうではありませんか、それには私達歯科医が一つになって問題に立ち向かわなくてはなりません、会員の先生方のご協力なしでは出来ない事で

すから、どうか絶大なるご協力をお願いします。副会長に就任して微力ではありますが会長を補佐してより良い歯科医師会を作る為に尽力をつくす事はやぶさかではありませんし、熊本市歯科医師会の歴史の一頁になればと思います。今年には九州歯科学会が熊本です、来年は参議院選挙が、そして太平洋アジア歯科学会がソウルで開催されます、国際化のこともあってそれぞれがそれぞれの立場で良く参加すること、これも協力と思います、皆成功させようではありませんか。

どうか三年間よろしくお願い致します。



専務理事

関 剛 一

今年度より鈴木勝志先生の後任として専務理事を中根俊吾会長より選任されました。誠に身にあまる光栄と思いますが、鈴木前専務の立派な会務執行を目のあたりに見てまいりましたので果して出来るものかと不安が先に立っております。中根会長・鈴木副会長の助けを得ての会務執行になりますが、この一年専務理事としての勉強を一生懸命やろうと思っています。

医療界全体の変遷の中でどの様な方向に医療は進んでいるのか、将来医療界はどうなるのか、あらゆる方向から見極め、それに対して現実として歯科医師会、一開業医はどの様な態度をとればよいのか、一本の筋道を立て

なければならぬと思っています。

現実的にはとても厳しい医療界です。どれを取ってもあらゆる方向から見ても厳しい医療界です。不満だらけの中で医療に取り組んでいるのであるが、そんな中で我々は希望と歯科医師としての誇りをもち、真の医療を国民に与えねばならぬと思います。

微力ながらその希望と真の医療に向って歯科医師会の為に自分の出来るかぎりの努力をしようと思っています。



常務理事

柿原康男

今期常務理事を仰せ付かり市会員 290 名の会務の一翼をになうにあたり、責務の重さをひしひしと感じています。

熊本市歯科医師会定款 第3章 役員の職務 第18条 4に「常務理事は会長の旨を受けその担当事務を掌理して専務理事を補佐し——」とあります。前常務理事 宇都宮先生のと受け会務につきました。昭和60年会誌52号に60年新執行部発足にあたって、宇都宮先生は下記の如く記されております。

「——会の経理面から数字の推移をみますと歯科界の盛衰が如実に表われて非常に興味深く感じるがあります。4・5年前迄は、経費を上廻る収入で予算編成もやり易かったが現在ではどう切りつめていこうかと大いに苦慮している次第です—— しかし今後も会

費の値上げすることなく、会の運営を図り、会員の皆様方のプラスになる様にやっていきたい。」と結んでおられます。私共も上記の事を肝に銘じ会務にあたる所存です。現状は収入面で横ばい、あるいは下降線をたどっています。会費は会員の年会費均等割 10,000 円、所得割、社保・国保の診療報酬の 1,000 分の 1 と、雑収入で運営されています。今後私共が考えなければならない事は、総収入の 1/2 をしめる雑収入の増加をはかること以外にはないと思います。

本会の発展の為に微力ではありますが努力する所存です。会員の先生方の御指導、御協力を御願い申し上げます。



広報担当理事  
寺 脇 博

このたび、中根俊吾会長より広報担当理事を拝命し、前広報担当理事関専務のあとを受け継ぐ事になりました。関理事のもとで広報委員を 6 年間続けてきたわけですが、ふりかえてみますと、ほとんど関理事がひとりで原稿集め、編集校正とやっておられ、我々委員はたいへんだなあと感じておりました。後半に入り、やっと要領がわかり始め、各委員で仕事分担ができるようになったところ執行部交代で、関理事にはたいへんだったことと思います。

中根会長就任に際し、会長は各理事へ、あ

くまでも会員ひとりひとりのために仕事をすること、特に広報委員会に会報の速報性、および対外活動も行ってほしいということでしたが、いかなる方法があるかと頭を悩ませています。

広報の仕事は、会の運営の報告および会員相互の知識の高揚を目的とするものと思います。若い先生方や入会されて間もない先生方も、自分は会の運営には関係ないという事なしに、会の活動に積極的に参加してほしいと思います。また、会の運営その他に対し疑問があれば、広報あてにでも質問状をだしてみようというようなこともできると思います。

私も、自分のできる範囲で広報活動をやってゆくつもりですので、これから三年間よろしく願いもうしあげます。



医療管理担当理事  
富 田 久 之

想えば、昭和 46 年九州歯科大学を卒業し、その年の 9 月に、故園田守生先生に口腔衛生委員会に入会させていただき、昭和 46 年 9 月～昭和 52 年 3 月 口腔衛生委員会委員（園田守生理事） 昭和 52 年 4 月～昭和 54 年 3 月 口腔衛生委員会委員長（中根俊吾理事） 昭和 54 年 4 月～昭和 58 年 3 月 厚生委員会委員（宇都宮啓一理事） 昭和 58 年 4 月～昭和 60 年 3 月 社保委員会委員（浜坂浩一郎理事） 昭和 60 年 4 月～昭和 63 年 3 月 社保委員会

委員（杉野陽二郎理事）まで約17年間各委員会委員、委員長として多種多様の勉強をさせていただき、ありがたく思っております。

この度、中根会長より医療管理委員会の担当理事と言う大役を仰せ付き私にとって全く初めての委員会と言う事で、非常に困惑している次第です。

しかしながら、一旦受諾しましたからには、諸先輩の先生方、友人の先生方、又委員会の先生方の御助言、御助力を承りまして、熊本市歯科医師会会員一人々の為に誠心誠意努力したいと思っております。尚一層の御支援、御鞭撻の程宜しくお願い致します。



厚生担当理事

菅原 洋

今回、中根会長の誕生にあたり、またしても厚生担当を仰せ付き、過去6年間、私ども委員会は、別名“親睦委員会”として、“支部対抗バレーボール大会”、“新年パーティー”、二大行事に会員集めの困難さや、重大さのモチベーションの違い等問題提起の中のスタートでしたが、各支部長先生、会員の皆様の御協力、御鞭撻によりまして、今までは、“親睦”と云う二文字が市民権を得まして、歯科界をとりまく厳しい環境の時こそ“団結”、“親睦”、が必要不可欠であると会員に脈々と生きております。

中根新会長のもと、7年目の再出発として、

“親睦”というすばらしい財産はそのまま引きつづき委員会自体が長年の懸案でありました、“会員のための福祉厚生”のスローガンを目標と掲げ、新会長のご指導を仰ぎ、この3年間、ふんどしをしめなおして会員本来の“厚生”を目指して全力を投入する覚悟でございます。今期3年間は以前より増してのご協力ご指導を賜ります様お願い申し上げます。

おとしよりの先生からも又、ご家族の方からも“歯科医師”になってよかった、“歯科医師会に入会してよかった”と思われ、若い先生にも希望と展望のある歯科医師会をめざして皆様とスクラム組んで歩いて行きたいと思えます。

“昨日は幻” “明日は夢” “今日が本番”

尚 7月3日は、“親睦の華”であります第12回 支部対抗バレーボール大会です。一度会場に足をはこんではいよ!!



学校歯科担当理事

岡田 知久

本年度4月より柿原前理事の後を引き受け学校歯科委員会の理事を担当することになりましたが、私自身不慣れのために委員の各先生には大変御苦勞、御迷惑をかける事と思いますが、前任の先生3人おられますので何かと心強く思っています。我々全委員一致協力して会務を実施し活動に頑張っていきたいと思っています。又私達委員会は会員の先生はも

ちろん市教育委会（体育保健課）、学校保健会、あるいは養護の先生方との関わりが多く学童の健康教育に協力して行きたいと思っています。近年学童にはむし歯半減運動を目標に、ブラッシング指導によるむし歯予防ばかりではなく、軟食時代の中で咬まない咬めない子供達が多くなってきているおり、歯周疾患、咬合異常、咀嚼異常が多発してきている傾向にありますのでそちらの方面にも指導を行っていき、学童の健康に少しでもお役に立ちたいと思っています。今後共どうぞよろしく御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。



社会保険担当理事  
本 田 亘

浜坂、杉野両元理事のもとで6年間社保を勉強して参りましたが、この度新理事を仰せつかりました。6年間勉強したと言いましても表面をかじった程度でまだまだ細部に亘っては全くの未熟者です。今度は新一年生の気持で一から勉強しなおして見たいと思います。

歯科医師の増加、患者数の減少、収入の減少と私共歯科医を囲む悪状況に加えて多種多様の保険事務の繁雑化、又今年度からは生涯研修制度の実施と全く心の安まる所がありません。その上に四月の診療報酬点数改正におきましては歯科だけが見送りとなりひじょうにみじめな思いをさせられました。そう言っ

た状況の中で市社保委員会では県社保委員会にも御協力をお願い致しまして、保険診療、請求事務、その他諸々のことに関しまして会員の皆様に少しでもメリットになりますよう努力して見たいと思います。どうぞ御指導、御鞭撻、又御協力の程よろしくお願い致します。



口腔衛生担当理事  
田 島 宗 穂

中根新会長のもと三期目の口腔衛生担当理事をおおせつかり、気持も新に、「母と子の良い歯のコンクール」や、市立幼稚園児を対象とするフッ素塗布等々の委員会事業を積極的に推進するつもりでいます。また対外的には医療専門団体連合会に参加し今年で創立五周年を迎え益々の発展を望んでいる所です。

ここで主な医専連の活動を列挙してみますと、後述の通りです。

以上の様に健康展の開催も今年で6回目を数え事業内容も充実して参りました。

会員の皆様方の御支援と御協力を今後ともより一層宜しくおねがい致します。

又医専連の63年度役員名簿を記載させていただき所属団体の紹介にかえさせていただきます。



学術担当理事  
伊 東 隆 利

川崎先生時代より学術を担当して3期目を迎えますが、会員の先生方のこれまでの御協力を感謝申し上げます。

さてこの春より中根新会長の下で「会員のための会員の歯科医師会」を目ざして新風が吹き込まれていますが、その風が学術委員会の活動にも反映するよう努力したいと考えています。

特に生涯研修制度の問題もありますので、①従来までの活動に加えて、②支部単位での研修活動（手づくり研修会）、③他委員会との共同企画、をこれからの活動の3本柱に考えています。

これからの社会の変革、日進月歩の医学の進歩、巨大なマスコミの速報性など考えるとき、われわれ歯科医もあんのんとしてはおれません。一般社会における歯科医療に対するNeedsを操り、その変化をつかんでいかねばと思っています。

これまで以上に会員の学術研修は必須のものとなりましょうし、そうすることにより患者への質の高い歯科医療サービスを行なうことができるし、また私達の生活の向上にも役立つものと思います。

学術委員会としてはこれからも、会員の先生方のNeedsを操り、期待に沿いたいと

思っています。御指導の程よろしくお願い申し上げます。



監事  
山 室 紀 雄

社団法人 熊本市歯科医師会の会長改選に共ない、不肖私が監事に立候補しました所、当選させていただきありがとうございました。

私も本年度迄、約13年間専務理事や副会長として執行部に籍を置いて参りましたので、その経験をふまえて菊池監事と共に、会員の先生方を代表して、執行部を監視し、よりよい歯科医師会発展の為に努力して行きたいと思っています。

最後になりましたが、今後共先生方の御指導、御鞭撻の程をよろしくお願い申し上げ、皆様方の御健勝をお祈り致します。



監事  
菊 池 英 一

会員の皆様方におかれましては益々御活躍のことと存じます。又、前会長以下、理事、監事の先生方、大変御苦勞様でございました。

さて、不肖私此の度御推薦を戴き監事の役を引き受ける事に成りましたが、未だ弱輩者

ですので、会計監査という仕事に重責を感じております。

新会長以下、理事の先生方も会務運営のため又会の発展のために意欲的に活動を始められております。

私としても、出来る限り理事会にオブザーバーとして出席し、会務に対して理解を深め少しでも協力出来る様、微力ながら努力致す所存でございます。

どうか今後とも御指導御鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。



熊本市歯科医師会

[illegible]

# 委員会名簿

## 広報委員会

|        |                                           |                                           |                                     |                                           |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|
| ◎<br>○ | 寺<br>寺<br>奥<br>奥<br>永<br>蔵<br>鬼<br>奈<br>太 | 脇<br>島<br>田<br>村<br>野<br>田<br>塚<br>良<br>田 | 美<br>良<br>敏<br><br>幸<br>友<br>健<br>憲 | 博<br>史<br>樹<br>之<br>忠<br>一<br>文<br>一<br>生 |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|

## 医療管理委員会

|        |                                           |                                           |                                      |                                           |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------|
| ◎<br>○ | 富<br>赤<br>藤<br>松<br>坂<br>鳥<br>田<br>中<br>尾 | 田<br>城<br>波<br>本<br>元<br>取<br>中<br>村<br>上 | 久<br>公<br>好<br>真<br>和<br>孝<br>弥<br>勇 | 之<br>德<br>文<br>典<br>彦<br>治<br>興<br>一<br>宏 |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------|

## 厚生委員会

|        |                                           |                                           |                           |                                           |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------------|
| ◎<br>○ | 菅<br>古<br>吉<br>奥<br>緒<br>内<br>柿<br>三<br>西 | 原<br>賀<br>永<br>田<br>方<br>田<br>原<br>隅<br>口 | 誠<br>洋<br>孝<br><br>裕<br>和 | 洋<br>明<br>郎<br>実<br>成<br>隆<br>訓<br>邦<br>弘 |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------------|

## 学校歯科医院会

|        |                                      |                                      |                                |                                      |
|--------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| ◎<br>○ | 岡<br>斉<br>合<br>岡<br>忽<br>中<br>山<br>大 | 田<br>藤<br>沢<br>本<br>那<br>川<br>村<br>園 | 知<br>康<br><br>博<br>順<br>定<br>正 | 久<br>健<br>生<br>寛<br>雅<br>一<br>信<br>人 |
|--------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|

## 社保委員会

|        |                                 |                                 |                      |                                 |
|--------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------|---------------------------------|
| ◎<br>○ | 本<br>津<br>渡<br>稻<br>三<br>松<br>有 | 田<br>田<br>辺<br>葉<br>筈<br>本<br>田 | 勝<br>逸<br><br>光<br>俊 | 亘<br>久<br>博<br>郎<br>司<br>示<br>昭 |
|--------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------|---------------------------------|

## 口腔衛生委員会

|        |                                           |                                           |                                           |                                           |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| ◎<br>○ | 田<br>青<br>分<br>弥<br>矢<br>村<br>沢<br>川<br>谷 | 島<br>木<br>山<br>永<br>毛<br>上<br>木<br>原<br>川 | 宗<br>道<br>和<br>康<br>石<br>辰<br>孝<br>雄<br>貞 | 穂<br>育<br>男<br>博<br>豊<br>郎<br>明<br>次<br>男 |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|

## 学術委員会

|        |                                                |                                                |                                               |                                                |
|--------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------|
| ◎<br>○ | 伊<br>小<br>成<br>斉<br>緒<br>川<br>添<br>永<br>西<br>中 | 東<br>柳<br>松<br>藤<br>方<br>崎<br>島<br>田<br>野<br>西 | 隆<br>大<br>賢<br><br>敏<br>俊<br>正<br>省<br>隆<br>一 | 利<br>明<br>二<br>朗<br>克<br>明<br>和<br>蔵<br>一<br>夫 |
|--------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------|

## 臨時委員会

|                       |                       |                      |                       |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|
| 柿<br>片<br>緒<br>藤<br>池 | 原<br>山<br>方<br>波<br>上 | 康<br>隆<br>義<br><br>富 | 男<br>昭<br>昌<br>剛<br>雄 |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|

※ ◎印は担当理事  
○印は委員長

昭和63年度第37回

## 「母と子のよい歯のコンクール」

分山和男  
口腔衛生委員 谷川貞男

昭和63年5月28日(土)、熊本市産業文化会館6階の会議室に於いて、第37回「母と子のよい歯のコンクール」が開催されました。

このコンクールは、6月の歯の衛生週間を前に、熊本市と熊本市歯科医師会が主催したもので、市内の各保健所と保健センターにて実施されている3歳児検診の際、う蝕のない幼児とその母親の口腔内診査の結果選ばれた19組の親子が参加しました。

市東部保健センター大嶋所長の開会の辞により、コンクールは始まり、審査は市歯科医師会口腔衛生委員4名の先生により、歯牙、歯列、咬合、歯肉、歯口清掃の状態を区分し各委員の厳正な審査の結果、「優秀賞」2名「歯の衛生週間賞」4名、「よい歯のコンクール賞」が選ばれました。

優秀賞には、吉原理恵子さん・祐介君母子と、坂本純子さん・洋一朗君母子の2組が決定し、6月5日に開かれる県大会に熊本市代表として出場致します。

市の田尻衛生部長により表彰があり、次い

で、中根熊本市歯科医師会会長の「歯肉の健康づくり」を主とした挨拶、その後青木先生の審査講評にて、コンクールは終了致しました。

稿を終えるに当たり、保健所の吉良先生、保健センターの後藤先生をはじめ、関係者の方々の御協力に感謝致します。

「はい アーンして!」





「するどいプロの眼で  
 どんな小さなむし歯も  
 見のがさないように  
 ——とにかくどちらも  
 大変です」

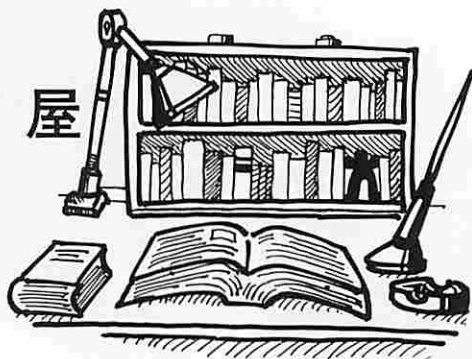


優秀賞 吉原理恵子さん・祐介君



優秀賞 坂本純子さん・洋一郎君

## 勉強部屋

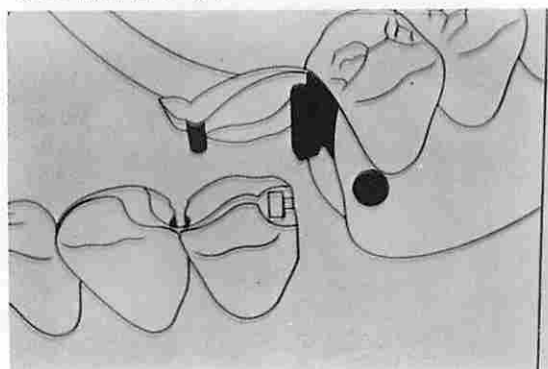


# Pt-Snap アタッチメントの 臨床経過

奥村 敏之

はじめに

Pt-Snap アタッチメントとは、補綴臨床に応用される歯冠内アタッチメントの事で、主に、片側遊離端及び両側遊離端等に利用する事ができる。この Pt-Snap アタッチメントを使用し、補綴物製作にあたって、その経過の報告をする。



### アタッチメントの分類

現在広く使用されているアタッチメントはその機能及び形態によっていろいろな分類に分ける事ができる。その一つとして、図表1はアタッチメントと利用する歯冠及び歯根との関連による分類で、

表 1



図表2は、現在使用されている既製アタッチメントを用途別に分類される。

表 2

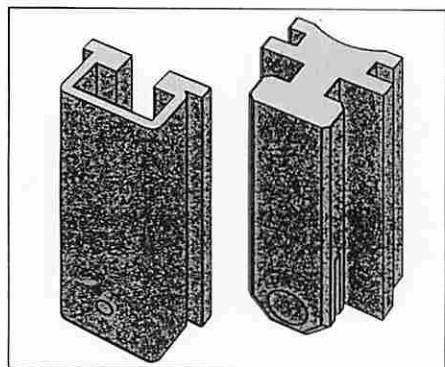
|                | 形態による分類 |     |     |     | 運動による分類 |       |         |         |         |           | 欠損による分類 |         | 構造による分類 |             |         |        |   | 面接触特にも使用できる<br>オパール・デンチャー<br>ピン・タイプ<br>ボタン・タイプ<br>バー・タイプ<br>フレンチ・ロン・タイプ<br>スプリング・タイプ |
|----------------|---------|-----|-----|-----|---------|-------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-------------|---------|--------|---|--------------------------------------------------------------------------------------|
|                | 歯冠内     | 歯冠外 | 歯根内 | 歯根外 | ①垂直移動   | ②水平移動 | ③垂直遠心回転 | ④垂直近心回転 | ⑤水平遠心回転 | ⑥預告・警告・回転 | 中間欠損    | 片側遊離端欠損 | 両側遊離端欠損 | フレンチ・ロン・タイプ | ボタン・タイプ | バー・タイプ |   |                                                                                      |
|                |         |     |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         |         |             |         |        |   |                                                                                      |
| ASC 52 (両側用)   |         |     | ○   |     |         |       | ○       | ○       | ○       | ○         |         |         |         | ○           |         |        |   |                                                                                      |
| ASC 52 (片側用)   |         |     | ○   |     |         |       | ○       | ○       | ○       |           |         |         |         | ○           |         |        |   |                                                                                      |
| Stern G/L      | ○       |     |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         |         | ○           | ○       |        |   | ○                                                                                    |
| Stern No. 7    |         | ○   |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         | ○       |             | ○       |        |   |                                                                                      |
| Stern G/A      | ○       |     |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         |         | ○           | ○       |        |   | ○                                                                                    |
| Ceka No. 1     |         |     |     | ○   | ○       |       | ○       |         | ○       | ○         |         |         |         |             |         |        | ○ | ○                                                                                    |
| Ceka No. 4     |         |     | ○   | ○   |         |       | ○       |         | ○       |           |         | ○       | ○       |             |         |        | ○ |                                                                                      |
| Ackermann      |         |     |     |     |         | ○     | ○       | ○       |         | ○         |         |         |         |             |         | ○      |   | ○                                                                                    |
| Ball "N" Hinge |         |     | ○   |     |         |       |         |         | ○       |           |         | ○       | ○       |             |         |        |   |                                                                                      |
| Ney-Chayes     | ○       |     |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         | ○       | ○           |         |        |   | ○                                                                                    |
| McCollum       | ○       |     |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         | ○       | ○           |         |        |   |                                                                                      |
| Dalbo 667      |         |     | ○   |     |         |       | ○       |         | ○       |           |         | ○       | ○       |             | ○       |        |   |                                                                                      |
| Dalbo (mini)   |         |     | ○   |     |         |       |         |         | ○       |           |         | ○       | ○       |             |         | ○      |   |                                                                                      |
| 井上             |         |     | ○   |     |         |       |         |         | ○       |           |         | ○       | ○       |             |         |        | ○ |                                                                                      |
| Bona           |         |     |     | ○   |         | ○     |         |         | ○       | ○         | ○       |         |         |             |         | ○      |   | ○                                                                                    |
| Rothermann     |         |     |     | ○   |         |       |         |         | ○       | ○         | ○       |         |         |             | ○       |        |   | ○                                                                                    |
| Dolder         |         |     |     |     |         | ○     | ○       | ○       | ○       | ○         |         |         | ○       |             |         |        |   | ○                                                                                    |
| Gilmore        |         |     |     |     |         | ○     | ○       | ○       | ○       | ○         |         |         | ○       |             |         |        |   | ○                                                                                    |
| Roachball      |         |     | ○   |     |         |       | ○       | ○       | ○       |           |         | ○       | ○       |             |         |        |   |                                                                                      |
| Chayes         | ○       |     |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         | ○       | ○           | ○       | ○      |   | ○                                                                                    |
| Schatzmann     | ○       |     |     |     |         |       |         |         |         |           |         |         | ○       | ○           | ○       |        |   |                                                                                      |

図表 3 は、代表的な既製アタッチメントの機能別に分類されている。

表 3

| 歯冠内アタッチメント         | 歯冠外アタッチメント   | テレスコープ・スタッド           | バー・アタッチメント     | 補助アタッチメント                    |
|--------------------|--------------|-----------------------|----------------|------------------------------|
| Crismani           | ASC-52       | Baer                  | A. JOINTS      | A. SCREW UNITS               |
| 689-A              | Sphere       | Biaggi                | Ackermann      | Hruska                       |
| 689-D              | Hemisphere   | Ceka                  | Dolder         | 709, a, b                    |
| 699                | S-Protect    | Conod                 | Gilmore        | 709, c                       |
| 699-D              | H-Protect    | Dalbo                 | B. UNITS       | Schubiger                    |
| McCollum           | CM-637       | 604 (Ball)            | Dolder 3mm/5mm | 658                          |
| Ney-Chayes         | Crismani 683 | 604-A (Cylinder)      | Gilmore        | 659                          |
| # 5                | Dalbo        | 604-P (Resil Ball)    |                | 660-Stump                    |
| # 6                | 667-A        | Gerber                |                | B. PAWL CONNECTORS           |
| # 9                | 667-C        | 686-C Solid           |                | Ipsoclip                     |
| Roach              | Dalbo-M      | 696-C Resilient       |                | C. STABILIZERS/<br>BALANCERS |
| Ball-Tube          | 667-A        | Gmur                  |                | ASC-52 Anchor                |
| Flat               | 667-C        | Huser 695 Solid Block |                | CM121                        |
| Schatzmann         | Gerber Hinge | Rothermann            |                | D. INTERLOCKS                |
| Steiger Pin        | Inoue        | Solid                 |                | Stern G/L "Mini" 0.70        |
| Stern              | Hinge        | Resilient             |                |                              |
| G/L, Dovetail, ESI | Hinge Bolt   | Schubiger             |                |                              |
| "Mini" G/L 0.07    | Stabilex     | 658                   |                |                              |
| "Mini" G/A         |              | 659                   |                |                              |
| Type 7, ESI        |              | 660-Stump             |                |                              |
| Type 7, S.B.       |              |                       |                |                              |
| Precision Rest     |              |                       |                |                              |

以上の様な分け方が出来るが、その中にある Pt-Snap アタッチメントは、非緩圧型の歯冠内アタッチメントである。

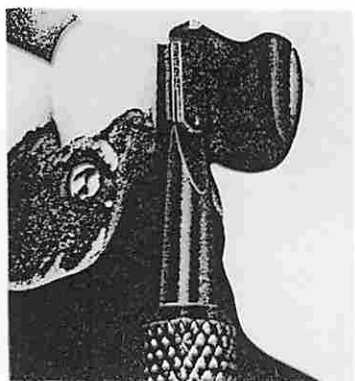


今回はこの Pt-Snap アタッチメントを使用した片側遊離端義歯の症例をおって説明する。

#### Pt-Snap アタッチメントの特徴

このアタッチメントの特徴は、

- ① 非緩圧型の直接維持装置である。
- ② 歯冠内アタッチメントで摩擦力が主であるが、アタッチメント内で s snap 維持があり、専用マンドレールによる増強回復が可能である。



- ③ パトリックス（おす部）は、Ceramicor 合金を使用しろう着ができ、マトリックス（めす部）は H・M・A20 合金を使用し、貴金属及び非貴金属に関係なく、鋳接が可能である。

- ④ 高さは 6.00 mm、巾 2.8 mm で咬合側を削り、アタッチメントを短かくもできる。

#### 適応性

適応性としては、歯牙負担もしくは、歯牙粘膜負担義歯や、リゾットな片側、両側遊離端に使用可能である。

#### 他の利点

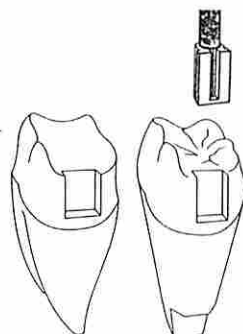
又、他にも次の様な事があげられる。

生物学的利点としては、

歯冠内に装着の為、

ペリオドンタルハイジー

ンに対して問題がない。



- ・静力学的利点としては、リジットな結合により支台歯と顎骨に対して咀嚼力の良好な分配が行える。
- ・技工学的利点としては、簡単に調整でき正確なスナップが効き、又スペースは小さくてすむ。それに加えて口径を適当に調整でき、鋳接あるいはろう着ができる。
- ・審美的利点としては、歯冠内に納める事ができ、高品質の審美的義歯の製作が可能である。

症例を通して

#### 【症 例】

患 者：岩〇〇子 41y ♀  
 初 診：s62y 2m 12d  
 主 訴：下顎左側 補綴物の咬合痛及び 3 の疼痛  
 現 病 歴：特記事項なし  
 局所所見：3 に急性歯髄炎 2 補綴物脱落

③④⑤⑥⑦ 補綴物不適

6 64 56 欠損

初診時、当症例の患者は上記のごとく、又  
歯内・歯周治療後、最終補綴物としては下記  
のごとく行なった。

| 【最終補綴】 S. 62. 5. 27                          |                               |
|----------------------------------------------|-------------------------------|
| P・M・S technicによるGroup functioned occlusion獲得 |                               |
| Br.                                          |                               |
| Cr. HR HR HR Po Po Po                        | Po Cr. Cr. Cr. Cr.            |
| ⑦ 6 ⑤ 4 3 2 1                                | 1 2 3 4 5 6 7                 |
| ⑦ 6 ⑤ 4 ③ 2 1                                | 1 2 3 4 5 6 7                 |
| Cr. HR Po Po Po                              | Po Po Po Po At P-D            |
| Br.                                          |                               |
| ⑦ 6 ⑤                                        | ⑦ 6 ⑤ 4 ③ 固定式架工義歯             |
| ⑦ 6 7                                        | 患者可徹式局部義歯                     |
| ⑦ At-D                                       | At: Pt-Snap (CM社) ridged Type |

当患者は、審美性に対し大変神経質な点があり、患者サイドとして口唇付近に金属色が出ない様に、又、過去に「67」欠損部にリンガルバー付き片側遊離端義歯を装着した事があるが、リンガルバーの感触になじめず、それをふまえてリジットな義歯をという希望があった。

そのため「234」部を連結固定のうえ「5」部を延長ダミーにし、「②③④5」を維持歯冠部とした。

又、「5」延長ダミーの遠心部にPt-snapを鑄接し、「67」欠損の局部義歯側にはスタビライザー等の補助装置を付与し、リンガルバーを除去し患者可徹義歯を装着した。

写真1は、本模型をアタッチメントの着脱にあわせ、パラレロメーターにトランスファーしている所である。

写真2は、「②③④5」部のWaxupが終り、アタッチメントのマトリックス（めす部）を「5」遠心部に付与した所である。

写真 1



写真 2



写真3は、マトリックスと維持歯冠鑄造と同時に鑄接を行ない、鑄接後ポーセレンを焼付けをし、パトリックスの試適を行なっている状態である。

写真4は、維持歯冠部と患者可徹式局部義歯の完成補綴物である。

写真 3



写真 4



写真 5・6は、完成補綴物装着、着脱時の左側部口腔内写真である。

写真 7・8は、同咬合面観口腔内写真である。

写真 5

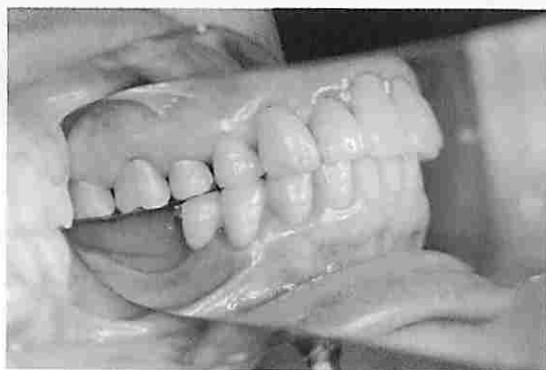


写真 6

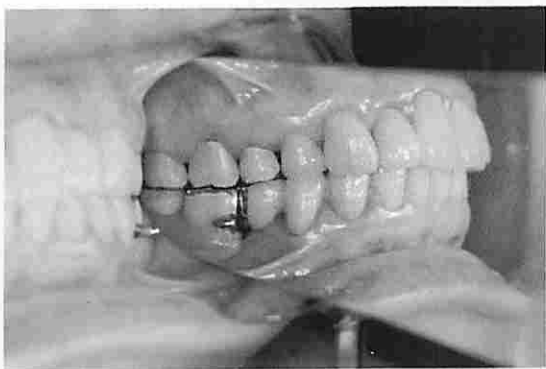


写真 7



写真 8

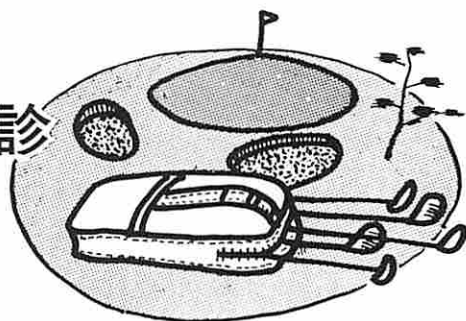


#### まとめ

Pt-snap アタッチメントは、維持歯と可徹式補綴物の間に固定式連結を保証し、連結部の把持力は、先程述べた様にアタッチメント内で snap 維持が有り、専用マンドレールによる増強回復により、一定の持続した維持力が得られる。

今回あげた Pt-snap アタッチメントにかかわらず、広く使用されている他のアタッチメントも含めて、それぞれのアタッチメントに対する正しい理解と、設計、予後、技工操作、合金の物理的特性を理解する事により、片側、両側遊離端等の補綴臨床に好結果が得られると考える。

## 本日休診



# カリブ諸島チャータークルージング紀行

浜坂 浩

数年前に本誌で御紹介しました様に、私の趣味はヨット・オートバイなのですが、ヨットの進む速度は自転車がゆっくり走る位が関の山、ヨットライフを楽しむ為にはたっぷりの日数を要します。そして寒い海はやはり快適とは言えない。

折角一週間の正月休みがあっても面白くないのでいっその事、南の海で仕事と生活をしたいと思って居ましたが仕事にはライセンスの問題が有るので駄目だし、次の正月休みは長く取って暖かい海でのチャータークルージングをしてみようと家内「エミタン」に話しして居りました所、近ごろ流行りの地上げ屋さんが再三押し掛けて来たので計画は中止に成っていたのですが、例の国土法の改正でほとぼりが冷めた様だったので慌てて計画を再開しようとしたのですが、もう期間が足りないのが気になり、夜眠れ無く成って、思い切って国際電話をかける決心：：時間も丁度良いし、がばっと起き上がりエミタンに辞書を持って「横に座っている、俺はこれから生まれて初めての国際電話をかける！」と言っ

て0051をプッシュしました。「ただ今混み合ってますので、暫くこのままでお待ち下さい・・・」張り詰めた気が抜け、受話器を置きたく成ったが、我慢して居ると、男の声が応してくれた。「G . A . U . S . A . ならジョウジア州でしょう」と言って取り次いでくれた。若い女性の声が英語を喋って来る。わりと順調に話しが進んだ。人数と住所と希望日をして名前を告げ「インフォメーションを送ってくれ」と言ったつもりだった。俺の英語も満更でも無いと思った。

でも飛行機の切符を買ってからクルージングの予約が出来てなかったら困るので、明く



る日もう一度電話した。そしたら今度は男の声が出てきて根掘り葉掘り聞く、昨日住所も名前も詳しく言ったのにしつこいなと思ったが、昨日の彼女は真面目に取り上げて居なかったらしい。

インフォメーションを送ってくれると言う返事だったので安心して待っていたが、一週間経っても手紙が来ない。そこで弟嫁が通訳のアルバイトをしていたので、押し掛けて電話してもらった。そしたら何とお金を送ったら資料を送ると言っていたらしい。

送金したら一週間でパンフレットと契約書、注意書き、好みや趣味のアンケート用紙を送って来た。今度は飛行機の切符だ。12月24日から航空運賃が高く成ると言う事で23日出発にし、帰りも7日にした。此処で飛行機のルートを述べなければならない。

熊本から福岡まで親父の車、羽田まで全日空・成田までバス・ロスアンゼルスまでノースウエスト機・アトランタまでデルタエアーライン・そして次の切符が2日後しか手に入らないのでそこで2泊、そしてプエルトリコのサンファンまでまたデルタ、S・T・トーマス 島までアメリカン エアーラインのプロペラ機、そしてヨットヘブンマリーナまでキャプテンの車。これらの乗り次ぎを失敗しないように切符を手配するのは大変な事だった。その上アメリカの余裕のある人の多数がクリスマスホリデーをフロリダやカリブで過ごす為に大移動する時期と重なってしまったのである。それで12月31日には引き上げてロスに戻る破目に成ってしまった。

最初にロスに着いて国内線に行くと、そこ

はオアシスの様に美しかった。辺りを見回すと、Tシャツの人、ジャンパーの人、毛皮を着た人、そして大きい人、小さい人、黒い人、白い人、顔の形も様々で銀河鉄道 999 に出てくる化け物達の世界を思わせた。我々黄色人種も目立たないようなきがした。

アトランタまでの道程でアメリカ大陸の大きさを空から実感、3時間の時差で着陸した。荷物引き渡し所まで地下鉄で移動、大した空港だ。荷物を受け取って出口に向かったがどうも様子がおかしい。係員に聞いたら「反対側の出口を出て左の方へ ペラペラペラ・・・」。出口を出たらバスやタクシーやエアポートシャトルが居たので係員にホテルの予約券を見せると「あの女性の後を付いて行くとシャトルが有るペラペラ・・・」。ホテルではクリスマス・イブなので金髪の母子ピアノの弾き語りでクリスマスソングをサービスをしていた。プエルトリコのアナウンスは全てスペイン語、慌てましたぞ。

S・T・トーマス行きは超ローカル便だから空港の端の端。スチワードスが改札して滑走路を歩いて飛行機まで案内。20人乗りで7人だけでプロペラの回転を上げ始めた時、二人の乗客が慌てて来て、扉を開けて乗せたので9人に成った。反対側に居た黒人女性に声を掛けられた。地域住民との最初の会話で内容はお定まりの何処から来たのか？何時までいるのか？何しに来たのか？などジェスチャー混じりの会話だったが楽しかった。他の飛行機が着陸して前を走っているのに、離陸の助走に入るのには驚いた。1時間余りでS・T・トーマス空港についた。とうとう着いた



のである。しかし3個預けた荷物の一個が出てこない。出発の時不安だった事が現実となったのだ。10分程待ったがベルトコンベアは止まってしまった。さあ大変だ。まともに喋れないのに、悪戦苦闘の末手続きを済ませた。

うろろして居たら黒人の男性が寄って来て「アーユ ミスターハマサカ」突然の事で慌てて「イエス」と言うと、「アイアム マーチン」と言って握手してきた。今回のクルージングのキャプテンが迎えに来てくれていたのだ、これから一週間寝起きを共にする人との出会いだった。早速荷物の事を言うとA. A. のオフィスに行って確認してくれて取り合えず船に行こう、そして次の便が着いたら車で見に行こうと言ってくれたのでほっとして彼の車に乗った。



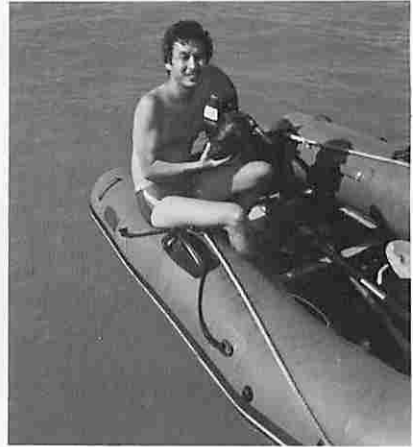
ヨットヘブンマリーナはラマダヨットヘブンホテルと一体と成っていた。マリーナ内には食料品店、土産屋、アイスクリームショップ、レストラン、パブ、ガソリンスタンド（ヨット用）、ダイビング用エアボンベサービスコーナーが有りゴミ収拾用のトレーラーが桟橋を走っていたのには驚いた。テレビでお馴染みのラブボートがあれだよ、と教えてくれた。そこには同クラスの船が3隻岸壁に泊まっていた。50フィート以上のモータークルーザーがごろごろしていた。中にはヘリコプターを積んだ奴も居た。



ヨットに着いて着替えようと思ったが、私のリュックは未だ届いてない。エミタンのショートパンツとTシャツを借りて何とか入ったのでほっとした。なにしろカリブなのに、ももひき・ジーパン・長袖の下着にコールテンのシャツにセーター、急激な温度差に振り回された。アメリカに来て此の2~3日の経験から日本人の胃袋サイズと彼らのそれとは1:2だと実感して居たので、其の事を告げておかないと折角作った料理を残して気分悪くさせたら大変だと思ったのでメイドのマディーに説明した。一日目のディナーはクリスマスのお祝と我々への歓迎の為、ワインで乾杯

した。ところがアルコールに弱い我々二人は直ぐに眠くなって寝てしまった。明るく日はS・T・ジョーンズ島のホークネスベイに行った。ゼノアジブだけで4ノット位のスピードが出ている。絶えず10メートル前後の風が吹いているのだ。ホークネスベイで昼食の準備が出来るまでゴムボートで岸に向かって出発、途中でヤシの実を拾い、砂浜に近づいたのでスピードを落とし、どうしようかと迷って居ると、いきなり大波が来て、私は極めて浅い海にほうりだされてしまった。其の上からゴムボートがのしかかって来たので首がギクーとして右の側頭部から頸部が痺れたままだった。何が何だか分からなかったが、ボートを流したら大変と、ロープを掴んで暫く波打ち際で倒れていた。お蔭で頸部の凝りが無くなっていた。

ランチを取った後フランシスベイに移動した。最初の停泊地だ。沖で錨泊して其の夜を明かした。次の日はイギリス領のジャストバンダイ島の側のサンディーケイと言う小さな無人島で、泳ぎたければゴムボートで浜辺の近く迄送ってやるから、後は泳いで上陸なさいと言われた。波がきついので昨日のような事に成ったら大変と思ったらしい。ジャングルの中には小さなイグアナが沢山ガサガサと走り回っていた。次に良く熟れた椰子の実を見つけて石を投げたが、実どころか石も落ちて来ない。石を5～6個椰子の木の上に乗せた後諦め切れず思い切って木に登って左手で木を右手で実を回転させて落とした。下りて早速水を飲もうとしたが道具を持って無かったので、石で叩き割って溢しながら飲んだ。



初めての体験で興奮した。水は気温の割りに冷たく杉の香りがした。

其の後ジャストバンダイのグレートハーバーに行ったが、日曜日なのでカスタムオフィスは休みだったのでこっそり上陸散歩した。レストランバーがあったが小屋よりお粗末な感じだったが数人がたむろしていた。にわとりの他に頭が七面鳥で身体はがちょうの形をした鳥が放し飼いにされていた。丘に登ると山羊の声がしたので鳴き真似をしたら返事をしてくれた。マディーが感心して、ヨットに帰ってキャプテンの前でもう一度やって見せろとはしゃいだ。そのマディーだがカリブソミュージックがかかると直ぐに踊り出す。私も一緒に踊ったものだった。一度なんかキャプテンが「マディー・ストップダンス」と言ったので振り向いたらデッキの上で踊っているムームー姿の彼女の下には何も着けていない事を確認してしまったのであった。ブラウン・ヘヤーが私の目に焼き付いた。

月曜日には全員パスポートを待ってカスタムオフィスに向かった。水着姿では入館させて貰えず、ショートパンツとTシャツならOK。何しろアメリカ領からイギリス領に入っ

たのだから入国手続きをしなければならないのである。一日一人4ドル入域料を払ってヨットに帰った。キャプテンは氷を置いて帰った。その日はバージンゴータのスパニッシュタウンに有るリトルハーバーに行った。そこはリトルどころかゴルフ場のグリーンのような公園が有るし、そこには子供の山羊が戯れていたし、シャワー・トイレ等施設は立派だし、スーパーマーケットは有るし、オオデオ・カメラ・ダイビンググッズ・土産・クラフトショップ・レストラン・バーそしてそれぞれの店は中庭を囲んでいて落ち着いた。ところがハーバーの外はど田舎であった。ホテル・美容院以外野原にぽつんぽつんとトタン小屋があるだけであちこちに子山羊が戯れて居た。マリーナの案内所で早朝の為か係員が居なかったのでエミタンに座らせてカメラを構えていたら、50才位の白人女性が「今日の案内は彼女がするのか？」と笑いながら通り過ぎて行った。



幸せな休日でした。S・T・トーマス島では手に入らない物はほとんど有りません。その上世界の一流ブランド品も酒もヨットも無税なのです。此処は天国です。天国に一番近い島では有りません。

# 熊本市保健医療専門団体連合会について

口腔衛生担当理事 田 島 宗 穂

昭和 63 年 5 月 23 日現在

|   | 役 職     | 氏 名              | 所 属 団 体             |
|---|---------|------------------|---------------------|
|   | 会 長     | 柏 木 明            | 熊本市医師会会長            |
| 新 | 副 会 長   | 井 上 裕 彦          | 熊本市医師会副会長           |
| 新 | 〃       | 中 根 俊 吾          | 熊本市歯科医師会会長          |
|   | 〃       | 西 名 敏 雄          | 熊本市薬剤師会会長           |
| 新 | 専 務 理 事 | 米 満 弘 之          | 熊本市医師会理事            |
|   | 理 事     | 田 島 宗 穂          | 熊本市歯科医師会理事          |
|   | 〃       | 戸 田 文 人          | 熊本市薬剤師会理事           |
| 新 | 〃       | ( 5 / 25 総会で決定 ) | 熊本県助産婦会会長           |
|   | 〃       | 上 田 益 代          | 熊本県看護協会会長           |
|   | 〃       | 石 井 孝 文          | 熊本県栄養士会副会長          |
|   | 〃       | 加 藤 七 地          | 熊本県放射線技師会会長         |
|   | 〃       | 林 田 寿 幸          | 熊本県臨床衛生検査技師会会長      |
|   | 〃       | 楠 加 代 子          | 熊本県歯科衛生士会会長         |
| 新 | 〃       | 中 野 昭 二          | 日本理学療法士協会熊本県士会会長    |
| 新 | 〃       | 島 崎 一 也          | 熊本県作業療法士会理事         |
|   | 〃       | 斉 場 三 十 四        | 熊本県医療ソーシャルワーカー協会副会長 |
|   |         |                  |                     |
|   |         |                  |                     |
|   | 監 事     | 明 生 仁 子          | 熊本市助産婦会会長           |
|   | 〃       | 森 田 秀 昭          | 日本理学療法士協会熊本県士会      |

新 は新任

= 敬称略 =

| 年・月・日                    | 内 容                                                                  |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| (昭和)<br>57 年 11 月 16 日   | 熊本市保健医療専門団体連合会発足。<br>13 の医療専門団体により構成された。                             |
| 58 年 4 月                 | H B s 抗原に関する調査を実施。<br>(“ H B ウイルス消毒法 ” についてを配付)                      |
| 58 年 10 月 30 日～ 11 月 3 日 | くまもとテクノポリス ' 83 の一環として健康展を開催。<br>(於：市水前寺体育館)                         |
| 59 年 10 月                | 医専連へ県医療社会事業協会(現、県医療ソーシャルワーカー協会)が入会。                                  |
| 60 年 2 月 5 日             | 熊本市老人地域リハビリテーション協議会の発足に伴い事業運営に参画。                                    |
| 60 年 3 月 16 日～ 17 日      | 熊本市健康都市宣言 5 周年記念健康展の開催。<br>(於：県立劇場)                                  |
| 60 年 8 月 24 日～ 25 日      | 第 7 回全国地域リハビリテーション研究会が熊本において開催され、運営に協力。<br>(主催は、市老人リハ協議会及び全国地域リハ研究会) |
| 61 年 1 月 31 日～ 2 月 3 日   | 第 3 回健康展の開催。(於：鶴屋)                                                   |
| 61 年 3 月 9 日             | 「第 14 回天草パールラインマラソン大会」健康測定の実施。(第 1 回) 於：大矢野「宮津グラウンド」                 |
| 61 年 10 月 2 日～ 5 日       | 熊本市民健康展の開催。(於：鶴屋)<br>この年、10 月 1 日を、「市民健康の日」に熊本市は制定                   |
| 62 年 3 月 8 日             | 「第 15 回天草パールラインマラソン大会」健康測定の実施(第 2 回) 於：大矢野「宮津グラウンド」                  |
| 62 年 10 月 1 日～ 4 日       | 熊本市民健康展の開催(於：鶴屋)                                                     |
| 63 年 3 月 13 日            | 「第 16 回天草パールラインマラソン大会」健康測定の実施(第 3 回)                                 |

# 支部長会議報告

小島支部長 赤城公徳

日 時：昭和 63 年 5 月 20 日（金）PM 7:00

場 所：ホテルキャッスル 1 F 銀杏

去る 20 日に 2 ケ月に 1 回行なわれている恒例の支部長会が開催されました。

今回は市の執行部が川崎先生が勇退され、中根先生にバトンタッチされ、又支部長も 11 名中、6 名が代わられたこともあり、新旧支部長、それに執行部から中根会長、関専務、柿原常務、菅原理事の出席で行なわれました。

まず、中根会長の挨拶、所信表明の後、関専務の挨拶、岩本先生の乾杯があり、出席者全員の自己紹介、菅原理事より、7 月 3 日のバレーボール大会開催協力依頼と歯科医師会に常勤の歯科医をおく様に努力してはどうかなどの問題が提案され、約 2 時間、なごやかに歓談、次回幹事を合沢先生にお願いして散会した。



# 昭和63年度新樹会発足

新樹会議長 原 賀 滋 久

昭和 52 年に発足しました、新樹会の 12 代目の議長を務めることになりました。微力でございますが、新樹会発展のため尽力いたしますので歴代議長同様ご協力、ご指導の程お願い申し上げます。

近年、我国ではかつて経験したことのない急激な高齢化社会を迎えつつあり、急増している医療費の抑制を目論んで種々の規制が強化されています。又一方では、歯科医師数の過剰も問題となってきています。このような環境の中で、歯科医師として地域医療の責務を果たすためには、歯科界のみならず社会の状況を知り、それに対応する行動が必要になると思われます。

そこで本年のテーマを『これからの歯科医療を考えよう』と定め、このテーマに沿って在宅歯科医療に関する行事を企画いたしました。これは、高齢化社会における医療が、施設医療から在宅医療の充実の方向へ向うことが予想され、また、現在ほとんどアプローチされていない在宅患者に対して、歯科医療を提供することは我々にとって、患者掘り起しにも繋がるとの考えに基づいて立案いたしました。さらに、若手歯科医師およびデンタル



ファミリーの団結を計るため、例年同様、楽しい親睦行事も予定いたしております。多くの若い先生方に御参加いただきまして、自由な発想と創造に富んだ新樹会にしたいと思いをします。

先生方のご理解、ご協力を賜われますようよろしくお願い申し上げます。

# 新樹会運動会

新樹会 田ノ上 輝

初夏の日射しの中、去る5月29日、日曜日、恒例の新樹会大運動会が県の運動公園にて行なわれました。開会は午前9時、県内各地の先生方、及び御家族、従業員の方々、総勢250名位の老若男女が参加し、熱戦、珍プレーが繰りひろげられました。

当日はジュース、ビールは飲み放題で、かなりたくさん用意していたのですが、暑さの為かすべて胃袋→大地へと消えてしまいました。

競技の進行は、役員の手際の良さと毎年ほとんど同じ競技内容ということで、参加者も「勝手知ったる運動会」といった塩梅の身のこなしをしてスムーズにいました。

参加賞品もなかなか役に立つ物が多く、一人でいくつも獲得するつわ者（女性に多かった）もいたようです。

常日頃部屋にこもりがちな我々が、家族、従業員と共に戸外で遊ぶことは年一回の運動会ぐらいしかなく、けっこうこの日を楽しみにしている常連も多いようです。特に子供達にとっては、楽しい一日となったことでしょう。

午前中は元気のよかった大人達も、昼食後



はなかなか競技に出ようとせず、一般男女参加の競技も子供中心となる情けなさでした。

そんな中であって、ひときわ光っていたのが千場正昭、敏昭両先生でした。リレー決勝で、千場歯科チーム、及び歴代議長チームのアンカーの両先生は一位、二位を独占するという中年パワーのすごさを示し、我々若い者達の大きな手本となりました。特に敏昭先生の空気抵抗を計算に入れた走りは、まさにピカーで感動すら覚えました。さらに、両先生のお父上は72才にもかかわらず、一般男子80m走に参加され、元気一杯でした。一日中暑い日射しの中に居たせいか、皆少々疲れ気味ではありましたが、午後2時半にはすべての競技を終え、記念撮影後、無事解散致しました。

今年参加されなかった先生方、来年はぜひ  
参加して、楽しい一日を過ごしてください。

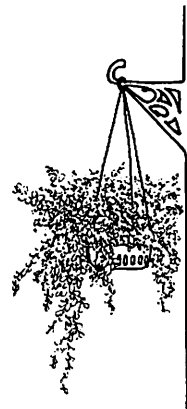


# 支部会だより

## 北部第二支部 研修講演会開催

北部2支部長 岩本義人

5月11日(水)午後7時より、県歯会館2Fに於て、63年度第一回歯学生涯研修セミナーに準ずる熊市歯会北部第二支部会研修講演会を会員30名出席のもとに開催致しました。御来賓の中根熊市歯会長の御挨拶を得たるのち、講師の伊東隆利先生より「昭和63、64年度歯学生涯研修事業実施要領について」詳細な解説が行なわれたのち、当夜の研修のメインテーマである「智歯をめぐる諸問題について」日常臨床上、しばしば遭遇するアクシデントについて、実に貴重な数多くの症例のフィルムを駆逐し、蘊蓄を傾むけての講演が行なわれたが、特に感銘を深くさせられたのは、単なる諸症例の列挙だけでなく症例の適確な診断、特にX線フィルムの読取りと、適確な処置、オペレーションのテクニック、併せて予後の症状の解説があり、出席者全員深い感銘裡に、3時間に及ぶ研修講演会を終了しました。



# 「日本審美歯科研究会」での講演を終えて

学術担当理事 伊 東 隆 利

歯科医学の始まりのときから今日にいたるまで、歯科医療における機能と審美の回復は重要な課題でありつづけています。洋の東西を問わず人工歯の選択や充填剤の選択において、形態や色調に無関心で治療を行う歯科医人はいないと思います。

Krets Chmer という心理学者は、「顔はその人の名刺である」といって、美醜の問題を越えて社会活動における「顔」の重要性について言及しています。

そうしたことから、その人の顔、口元になじまない補綴物、充填物、手術などがなされたとすれば、それは社会から私共の技術なり思考法なり、材料が否定されることにつながります。

また機能と美は表裏一体と昔からいわれております。いい形のものはいいい機能を持っている、機能的なものは美的である、とよく人の口にのぼるものです。

そうした背景から昭和 59 年福岡市で「日本審美歯科協会」が設立され、添島義和先生が会長に就任され活発な活動を行ってきています。

また本年になり歯科大学研究者が中心とな

って臨学一体の「日本歯科審美研究会」が設立され、近い内に「学会」に昇格するやに聞いています。去る 4 月 17 日、東京笹川記念会館で設立記念講演会があり、私も演者の一人として講演をする機会に恵まれました。

会場には全国から約 500 人の参加者があり熱気につつまれたものでした。

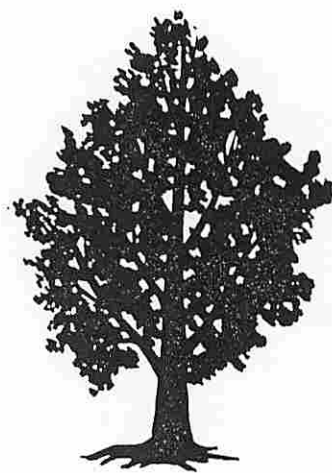
ヨーロッパ審美歯科学会の会長のピーター・ギャロン先生（仏）の補綴を中心とした特別講演があり、つづいて保存修復から、Perio から、矯正から、補綴から、インプラントからの発表がありました。私は「顎口腔外科からのアプローチ」ということで発表いたしました。

顎変形症に対する外科的矯正症例の機能と審美の回復ということを、病態写真、心理テスト、シロナングラフ、顎関節規格撮影などを用いて分析した結果を話しました。

骨格型の下顎前突症、開咬をはじめとする顎変形症患者が歯列の乱れ、咬合の乱れから咀嚼、嚥下、発音などの機能においてどれだけマイナスとなっているか、また口腔外科と矯正科との協同治療によって、機能的にも、審美的にも、いかに回復するかということ

強調し発表を終わりました。

発表は大学関係3名、開業医から3名、また出席者も開業医が多い中に大学関係者も多数含まれており、まさに臨学一体の学術集会である、との感を強く受けました。



# “水害御見舞申し上げます”

## 熊本市歯科医師会

先日の5月3日、熊本県下には5月としては記録的な集中豪雨に見舞われました。

市歯科医師会会員の皆様の中にも下記の通り自宅、診療所と浸水され、折しもゴールデンウィークと重なり何かと御不自由があったろうと思います。

ここに少々遅れましたが御見舞申し上げます。

飽田病院

床上浸水（診療所）

片山 幹夫先生

床上浸水（ご自宅）

古賀 明先生

床上浸水（ご自宅）

小柳 大明先生

床下浸水

菅原 洋先生

床上浸水（御船のご自宅）

千場 敏明先生

床上浸水（診療所）

鳥取 孝治先生

駐車場の一隅陥没

西川 庄次先生

床下浸水

吉永誠一郎先生

床上浸水（御船のご自宅）

（アイウエオ順）

以上被害にあわれた各先生方より“会員の先生方より早速ながらお見舞をいただき、ご厚情に感謝し、深く御礼申し上げます”とお言葉がありました事を申し添えます。

## 新入会員紹介



1. 氏 名 竹 下 憲 治

2. 住 所

(自 宅) 熊本市出水 7 丁目 733-11 TEL 378-5062

(診療所) 飽託郡北部町西梶尾 474-2 西嶋ビル 2 F

TEL 245-1491

3. 生年月日 S . 35. 7. 3

4. 趣 味 スキー、ドライブ、パチンコ

5. 好きな言葉 一生懸命

6. 経 歴 S . 54. 3 真和高等学校卒業 7. 家族構成 (氏名、生年月日、続柄)

S . 60. 3 大阪歯科大学卒業 竹 下 敏 則 (S . 8. 12. 18 父)

S . 60. 5 善歯科医院勤務 清 美 (S . 10. 12. 24 母)

S . 62. 2 秋山歯科医院勤務 ハルヲ (T . 2. 7. 30 祖母)

S . 62. 10 神戸歯科医院勤務 洋 治 (S . 33. 9. 13 兄)

S . 63. 4 竹下歯科医院開業 聡 治 (S . 38. 8. 19 弟)

衆 治 (S . 40. 2. 16 弟)



1. 氏 名 山 本 真

2. 住 所

(自 宅) 熊本市御幸笛田町 198 番地 TEL 378-7129

(診療所) 熊本市御幸笛田町宮ノ後 5-4 TEL 379-1577

3. 生年月日 S . 32. 3. 15

4. 趣 味 テニス

5. 好きな言葉

6. 経 歴 S . 60. 福岡歯科大学卒業 7. 家族構成 (氏名、生年月日、続柄)

S . 62. 中央町温石病院勤務 山 本 和 子 (S . 32. 9. 5 妻)

S . 63. 3 御幸笛田町にて開業 祥 (S . 58. 9. 20 長男)

未 央 (S . 60. 3. 8 長女)



1. 氏 名 古 川 猛 士

2. 住 所

(自 宅) 熊本市世安町 212 世安公団 4-205 TEL 359-2966

(診療所) 熊本市田崎町 474-2 大同ビル 203 号

TEL 322-9334

3. 生年月日 S . 27. 11. 9

4. 趣 味 音盤収集 (最近は子育てに忙殺されて、レコード店にいく時間も、聴く時間もかなり減少してます。)

5. 好きな言葉 「レコードは見つけた時に買え」

いいもの、ほしいものがあったら、すぐに手に入れたいものだという願いを込めて。

6. 経 歴 1973 年九大歯学部入学後、とどこおりなく 1979 年卒業

同時に口腔病理学教室 (橋本紀三教授) に在籍したのち、第 1 保存学教室

(青野正男教授) 入局、その後 7 年学生実習と研究に疲れ、今回開業しました。

7. 家族構成 (氏名、生年月日、続柄)

古 川 直 枝 (S . 31. 5. 12 妻)

祥太郎 (S . 59. 8. 30 長男)

愛 (S . 62. 2. 25 長女)



1. 氏 名 福 田 忠 彰

2. 住 所

(自 宅) 熊本市湖東 1-12-19

TEL 367-1182

(診療所) 熊本市湖東 1-12-19

TEL 367-1182

3. 生年月日 S . 33. 8. 20

4. 趣 味 ゴルフ、テニス

5. 好きな言葉 根性

6. 経 歴 S . 58. 3 神奈川歯科大学卒業

S . 58. 4 神奈川歯科大学歯周病教室入局

S . 60. 3 同 退局

S . 60. 4 ケイジン歯科 (横浜市) 勤務と同時に神奈川歯科大学歯周病学  
教室研修生

S . 61. 12 同 退職

7. 家族構成 (氏名、生年月日、続柄)

S . 62. 1 小松原歯科 (横浜市) 勤務 福 田 伸 子

S . 62. 12 同 退職 (S . 36. 10. 25 妻)

S . 63. 5 上記場所にてフクダ歯科開設 (歯科医師)

# 委員会だより

## 学術委員会だより

— 学術講演会のお知らせ —

「硬質レジンについて」

長崎大学 熱田 教授

日 時 7月22日(金) PM7:30～

場 所 歯科医師会館 3F

- ※ 各支部単位の講演等あります時は、学術委員がスライド係等のお手伝をさせていただきますのでその時は委員会まで御一報下さい。

## 第九回熊本市学校保健合同研修会

学校保健会総会が6月15日(水) 13:30～16:30 産業文化会館7階ホールにおいて『自ら進んで健康生活を实践する児童生徒の育成』(児童生徒の心の健康)のテーマで行われました。総会の席上学校保健功労者の表彰があり、本会より鈴木勝志先生、師井淳吾先生、椿幸雄先生が表彰されました。



## 社 保 だ よ り

社保委員会

6月からの点数改正の中で、次の4項目は内容が大きく変わりますので御注意下さい。

1. 充填
2. S 培
3. リベース
4. 咬合採得（老人）

### ◎ 充填

隣接面加算の廃止。

今度の改正では何面にかかっている窩洞と言うのではなく、ただ隣接面を含むか、含まないかで単純なもの、複雑なものに分けます。

隣接面を含まないもの・・・単純

〃 含むもの・・・・・・複雑

従って隣接面だけに限局された窩洞も複雑なものになります。

㊦ 単純・・・O B L BO LO BOL etc

複雑・・・M D MO DO BO LM MOD etc

1 歯 2 窩洞まで（3 窩洞以上は認められません。）

但し同一面の 2 窩洞は認められません。

### ◎ S 培

1 歯につき 10 0 点だったのが 1 歯につき 70 点になりました。

### ◎ リベース

床裏装法

義歯の粘膜面の一層を削除し新たに床材料で裏装するもの。

換床法

義歯の人工歯部分を残して床部を全体的に更新するもの。

床裏装法とは次のようなものです。

- 従来までやっていたようなリベース（印象採得を行い間接法により床の一部を更新するもの）
- 直接口腔内で即重レジン等によるリベース（従来は義歯修理として取扱っていたもの）
- 光重合レジンによるリベース
- 咬合高径を調整する目的で人工歯の咬合面にレジンを添加するもの。

※ 印象採得を行ったものは印象採得料算定

咬合採得を行ったものは咬合採得料算定

但し直接法でやったものは共に算定できません。

※ 実日数1日でも可

但し印象として間接法で1日でやった場合は「1日2度来院」と言うことを明細書摘要欄に記入の事。この場合は再診料は算定できません。

※ 新しく義歯を作製する予定があってリベースを行ったものは義歯修理の点数で算定。

※ リベースで算定したら6ヶ月以内の新義歯作製は不可。

※ 義歯破折に際し同一日で修理及びリベースを行った場合は修理の点数は算定できません。リベースの点数のみ。

◎ 咬合採得（老人）

老人に限り有床義歯（多数歯欠損）の咬合採得料が別になりました。御注意下さい。

市社保委員会では先日のアンケートの結果、多数の先生方の御希望により市事務局に質問箱の設置をすることになりましたので、保険給付に関する質疑あるいは御要望等がありましたら会館においでの際にお入れ下さい。（市社保委員会宛郵送でも結構です。）

御氏名、電話番号を書いて頂ければ後程電話にてお答えいたします。

# 会 務 報 告

## 理 事 会

| 月 日       | 協 議 内 容                      |
|-----------|------------------------------|
| 63. 4. 12 | 第 1 回理事会（会務、会計、委員会報告、協議、その他） |
| 5. 17     | 第 2 回 “                      |

## 口腔衛生委員会

| 月 日       | 協 議 内 容           |
|-----------|-------------------|
| 63. 4. 27 | S 63 年度の事業内容の説明   |
| 5. 27     | 母と子のよい歯のコンクールについて |

## 医療管理委員会

| 月 日       | 協 議 内 容                          |
|-----------|----------------------------------|
| 63. 4. 20 | 年間事業予定                           |
| 5. 27     | スタッフ研修セミナー打合せ<br>医療管理に対するアンケート検討 |

## 厚 生 委 員 会

| 月 日       | 協 議 内 容          |
|-----------|------------------|
| 63. 4. 26 | 厚生委員会の年度行事説明     |
| 5. 20     | バレーボール大会について、その他 |
| 5. 24     | “                |
| 5. 31     | “                |

## 学 術 委 員 会

| 月 日       | 協 議 内 容           |
|-----------|-------------------|
| 63. 4. 22 | 年間の事業計画、研修事業、施設充実 |

## 学校歯科委員会

| 月 日       | 協 議 内 容                                   |
|-----------|-------------------------------------------|
| 63. 4. 27 | 63 年度事業計画                                 |
| 5. 27     | 第 1 回熊本市学校保健会理事会議報告<br>第 52 回全国学校歯科保健研究大会 |

## 社会保険委員会

| 月 日       | 協 議 内 容         |
|-----------|-----------------|
| 63. 4. 19 | 年度行事            |
| 5. 10     | 保険診療アンケート作製について |

## 広 報 委 員 会

| 月 日      | 協 議 内 容                    |
|----------|----------------------------|
| 63. 4. 8 | 小委員会、事業計画について              |
| 4. 20    | 小委員会                       |
| 4. 26    | 第一回広報委員会、季刊誌及び月刊誌の発行内容について |
| 5. 2     | 小委員会、かわら版、点検               |

## — 編 集 後 記 —

4月より発足した中根新執行部も軌道にのり、活発な活動が行われている様です。本号にも各役員の所信表明を掲載致しましたが、会員皆様のより良き生活を目ざしての、その舵取りに大いに期待したいものです。我々広報委員会も、微力ながら協力致すつもりです。

会へのご要望、委員会へのご意見その他何でも結構です会員の皆様の御投稿をお願い致します。

広報委員会

### 熊本市歯科医師会会誌

#### 第 62 号

発行日 昭和63年 6 月 30 日 発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発 行 中 根 俊 吾  
責任者

印刷所 株式会社白瀬

熊本市水道町13番14号

TEL (356) 3593